『指導農業士』の新規認定者紹介

土田 祐介（西区）

水　稲

中野小屋地区にある「農事組合法人まるこめ」で水稲40haを経営、水稲栽培管理と経営を担当しています。地域の水稲の受け皿組織となれるよう頑張ります。

近藤 敏雄（西蒲区）

施設野菜

「エンカレッジファーミング（株）」を経営、大型環境制御型温室でのミニトマト、野菜等の苗生産をしています。ICTやAI等を活用し安全、安心、安定的な農業を目指します。

各種表彰受賞 おめでとうございます

○第1回北陸農政局食育活動表彰

北陸農政局長賞　　西蒲区農村生活アドバイザー連絡協議会　岩室地区（西蒲区）

○令和４年度果樹高品質生産拡大共進会（かき）

新潟県知事賞　品種「刀根早生」　　倉澤　正樹さん（西蒲区）

○令和４年度新潟砂丘地すいか高品質生産品評会

新潟県知事賞（全作型高品質果実出荷実績の部）　　渡邉　明さん（西区）

全国農業協同組合連合会新潟県本部長賞（全作型高品質果実出荷実績の部）　　山川豊昭さん（西蒲区）

新潟市長賞（ハウス作型高品質果実出荷実績の部）　　山川豊昭さん（西蒲区）

新潟砂丘地園芸振興協議会長賞（ハウス作型高品質果実出荷実績の部）　　若杉好数さん（西区）

○令和４年度新潟県施設園芸立毛品評会

新潟中央青果社長賞　品目（いちご，品種名：越後姫）　　(有)そら野ファーム（西蒲区）

◆◆西蒲原4Hクラブ「なじら」の会員募集◆◆

「なじら」は、主に新潟市西蒲区を拠点に活動する若手農業者クラブです。「楽しい」「おもしろい」「カッコイイ」農業を目指して、仲間づくりや自己研鑽、農業経営改善に取り組んでいます。

今年度は、会員それぞれが経営上の課題を自ら設定し、自己学習や４H主催の研修会等を通じて、課題解決にむけた活動を実施しています。巻農業普及指導センターも全力で支援していきます。

「なじら」は、毎月定例会を開催しています。自由に見学もできますので、お気軽に巻農業普及指導センター（担当　近藤　☎ 0256-72-0941）までご連絡ください。

エコファーマー認定制度に代わる新たな制度について

令和４年７月１日から、エコファーマー認定制度の基になる法律が廃止され、新たな法律（みどりの食料システム法）に基づく運用が始まりました。今後、持続性の高い農業生産方式の導入に係る取組の認定を受けたい場合は、新たな制度に基づき事業計画を申請してください。

なお、現在エコファーマーの認定を受けている方には、認定の最終年に順次ご案内します。

＜問い合わせ先＞

新潟地域振興局農林振興部生産振興課（新津庁舎）　☎ 0250-24-9622

巻農業普及指導センターだより

2023. 2. 6【No. 119】

【発　行　元】
新潟地域振興局巻農業振興部
（巻農業普及指導センター）

【問合せ先】
●企画専門員
TEL(0256)72-0941
●普及課
普及担当 TEL(0256)72-0945
作物担当 TEL(0256)72-0946
園芸担当 TEL(0256)72-0947
●ＦＡＸ　(0256)72-2955

地域農業を担うニューファーマーを紹介します

西区　**藤崎　智紀さん**

藤崎智紀さんは、新潟県農業大学校園芸経営科（野菜専攻）を卒業し、３年ほど農業関連機関に勤務した後に、「自分の頭で考えて体を動かし手ごたえのある野菜栽培がしたい！」と強く感じ、令和２年４月から西区赤塚で大規模野菜栽培（栽培品目と規模はハウスかぶ1.2ha、すいか１ha、メロン１ha、ねぎ１ha、大根50a）を営んでいる経営体に就業し丸３年となります。現在、５名の若手従業員のリーダーとして「品質の良い野菜をお客様に届けたい！」と熱意を持ち仕事に取り組んでいます。最近お子さんが誕生し、これまで以上に責任感と向上心が高まっていることから一層の活躍が期待されます。経営主からの信頼も厚く「栽培技術と経営感覚を磨き、さらに所得向上するぞ！」というエネルギーがあふれていました。

園芸の実践的な技術を習得しませんか!!

巻普及指導センターでは、令和２年度から新たな園芸の担い手の確保・育成を目的に、園芸の導入・拡大を志向する農業者等を対象に実践的、専門的な栽培技術の習得を支援する園芸参入塾を開催しています。令和４年度は「いちじく」、「ぶどう」、「ひまわり」、「ストック」の４つの講座を開催し、計37名の農業者から受講いただき、その中から9名が新たに栽培を開始しました。

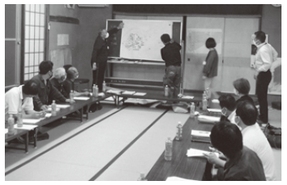
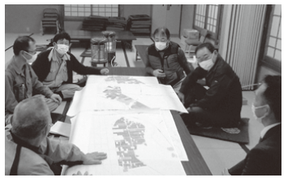
令和５年度も開講を予定してますので、興味のある方は普及指導センターまで是非ご連絡ください。

巻農業普及指導センターHP　http://www.pref.niigata.lg.jp/niigata_nogyo_maki/makinougyo.html

令和４年度の活動成果

「重点：担い手を中心とした安定的な農業構造の確立」

令和３年度より西蒲区升潟地域で、地域営農の継続や発展を目的に、西蒲区やJAと連携して、①営農状況の現状調査、②話し合いの促進、③将来プランの作成を支援してきました。
今年度は、農地集約化に向けた合意形成を中心とした下記の取り組みに繋がりました。

地域づくり検討会（１～２か月ごと）		【構　　成】大字升潟役員と支援機関 【取組内容】 ①研修会や視察研修の実施 ②地域営農の方向性や将来プランの検討 ③現耕作者の後継者候補にアンケート調査を実施し、将来の営農についての意向を確認 ④情報誌を発行し取組結果を地域に周知
農地集積委員会（週１～２回）		【構　　成】５集落の耕作者代表 【取組内容】 ①農地150haの地権者、耕作者を地図に整理 ②AIを活用した集約シミュレーションを参考とし集約案を作成 ③農地集約化に向けた地域内の調整
小作料検討会（夏場５回開催）	【構　　成】耕作者代表と地権者代表 【取組内容】農地中間管理事業を活用する際の小作料についての協議及び合意形成（仮合意）	

「重点：園芸の販売額１億円産地を育成するための取組の実践」

令和４年度は、野菜６産地、果樹１産地、花き１産地の合計８産地において、１億円産地の育成に向け、関係機関等と連携して栽培技術や品目別の各種研修会、園芸導入塾に取り組み、一層の産地の発展・拡大を支援しました。その結果、大玉すいか、いちじくで４年度の目標販売額を達成出来ました。

【支援対象品目の取組等の概要】

対象品目	産地の動向、取り組み
大玉すいか	販売額 14.1 億円（目標 11 億円）。ハウス団地の導入、環境モニタリング機器導入
かんしょ	貯蔵施設の整備検討、導入支援。貯蔵不要な試作用新品種の確保。熟期調査による品質管理
抑制メロン	ハウスすいか後作での導入拡大、病害虫防除対策による生産安定
たまねぎ	ＪA合併に伴う広域産地体制への発展。ほ場整備地区での導入拡大の支援、収量向上支援
一般切り花	切り花塾の開催、新規栽培者の確保育成
えだまめ	機械化省力化（収穫機、色選機の導入）による大規模経営体の育成。新規栽培者の育成
トマト	アンジェレ（全農ブランドミニトマト）の拡大、ICT 等新技術導入の支援
いちじく	販売額 1.85 億円（目標 1.7 億円）。いちじく団地の導入、塾の開催、新規栽培者の確保育成

「新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化」

需要に応じた米づくり、需要のある転作作物による水田フル活用を基本的な方針として、水稲、大豆、小麦の目標収量、高品質確保を目指し、生産者所得の最大化への支援を行いました。
水稲では、出穂期頃の異常高温、登熟期の日照不足に見舞われたものの、収量は平年並、主要品種の１等級比率はコシヒカリ81.9％と平年より8.3％高く、こしいぶき69.5％、新之助98.5％と平年並を確保できました。大豆では平年比やや少の収量でしたが、小麦は目標収量より高い358kg/10aを確保することができました。これは、関係機関が連携し、迅速かつタイムリーな情報提供を行えたこと、情報を受けた生産者の皆様が適正な管理を実践した結果と考えています。
来年度以降も引き続き、生産者所得の最大化に向けて、需要のある作物、品種の作付けを推進し、収量確保と品質向上を支援していきます。

【若手従事者を対象とした水稲穂肥指導会】

【三条市栄地区への高品質大豆研修会】

「収益性の高い畜産経営の育成 ～自給飼料確保に向けたWCS用稲作付け支援～」

購入粗飼料が高騰しており、酪農経営は非常に厳しさを増しています。巻地域では、購入粗飼料に頼ってきたことから自給粗飼料の生産基盤がなく粗飼料の作付け・収穫体制の整備が急務となっています。
稲ホールクロップサイレージ（以下「稲WCS」）は、稲作からの転換が可能であるため、普及センターでは稲作農家等と調整・連携して、稲WCSの試験栽培、取組啓発及び経営面での収益性を検討しました。
今年度は１戸の農家で約２haを試験栽培し、３戸の酪農家に稲WCSを供給しました。主食用米と水管理等が大きく異なるため栽培管理指導を徹底し、収穫作業をデモ機により行いました。収量はやや少なかったものの収穫調製で稲を細断したことと刈取りを適期の８月上旬にしたことで、サイレージ品質は最高級レベルのものとなり、実際に牛に給与し嗜好性に問題のないことを確認しました。
次年度は、さらなる面積拡大と近隣地域との連携を含めて３～４経営体での作付けと供給を計画中です。稲作農家と畜産農家が強く連携し、良質粗飼料を生産拡大する体制づくりを支援していきます。

【コンバインでの刈取りと梱包された稲WCS】

【稲作法人等への栽培管理や収穫機械体系研修会】